

きぼう

青少年育成広報

第 41 号
 発行人
 青少年育成那珂市民会議
 会長 関 守



筑波宇宙センターには何がある？(R7.8.28)

ふるさと教室「気分は宇宙飛行士！」

かんざきまつり

青遙学園 那珂市立横堀小学校 六年 鴨川 美俐
 横堀小学校では、かんざきまつりというお祭りが毎年開催されます。このお祭りでは六年生がイベントを企画し、スライム作りやわなげなど、さまざまなブースが開かれます。地域の人や保護者も自由に参加できるため、学校だけでなく、地域全体で一体感を感じることが出来ます。最初は、ただのお祭りだと思っていたけれど、参加するとすごく楽しかったです。地域の人たちがどんな場所でも話しかけてくれて、自然と会話することができました。普段は、あいさつだけの関係でしたが、地域の人たちと様々な会話をしながら交流できて、心が温かくなりました。
 かんざきまつりを通して、学校だけでなく地域のつながりの大切さを知り、これからも地域の一員として協力していきたいです。今年私は六年生になり、お祭りの企画をします。みんなが楽しめるお祭りになりたいと思います。

わかすぎの時間で学んだこと

わかすぎ学園 那珂市立菅谷小学校 六年 五十川 瑠美
 私の学園では、「わかすぎの時間」という小学生と中学生が交流し、学び合う時間があります。「自分oneアップ計画」というテーマのもと、自分を成長させるためにチャレンジしたいことを発表しました。その時に同じグループの中学生から、自分のたてた計画を達成するためには物事を前向きに考えることが大切、というアドバイスをもらいました。

これからは、中学生のアドバイスを生かして少しでもoneアップできるように、夢に向かってがんばっていききたいと思います。

青少年健全育成のまち宣言

- 1 市民の英知を結集し、みんなで積極的に青少年を育成しよう。
- 2 よい環境をつくり、心豊かでたくましい青少年を育成しよう。
- 3 自立の心を養い、連帯性や社会性に富む青少年を育成しよう。

令和7年度 青少年育成那珂市民会議

『偶 成』

青少年育成那珂市民会議

会長 関 守

「酒價は、尋常行く処あり、人生七十古来希なり」。

私は今年八月三日、古希を迎え、平成七年に六十九歳で亡くなった父の年齢を越えました。あつという間の人生だったと感慨深いです。年を取るのは早いですが、理想を成就するのは難しい。人生は一度きり、僅かな時も無駄にしてはならない。石段の脇に繁る青桐の葉が秋の訪れで、いつしか色づいているように、自分自身が人生の秋という初老の時期に差し掛かってしまった。少年時代を楽しみうちに早くも老境は迫ってくる。

「老年廃せず少年の学」。老人になっても若い頃に立派な人間になろうと燃えた情熱を失わず、今後の人生を学んでいこうと思います。

基本方針

近年、全国的に情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化に伴い、家庭・地域の教育力や規範意識、社会性の低下等、様々な問題が指摘されている。

一方、那珂市では令和7年3月に「第3期那珂市子ども・子育て支援事業計画」が策定され、「子どもの笑顔をハグくもう みんなで子育ていいなかま」の基本理念のもと、本年度から5か年の計画で、様々な事業や支援を展開していく。

これらの状況を踏まえ、青少年育成那珂市民会議では、構成団体と協調を図り、家庭・学校・地域社会が一体となった青少年健全育成市民運動として、青少年のためによりよい環境の構築に努めていく。

重点目標1

青少年のための地域と協働による体制づくり

重点目標2

健全な家庭づくりの推進

重点目標3

広報活動の充実強化

具体的実践事項

- (1) 「あいさつ・声かけ運動」をすすめる
- (2) みんなで地域づくりをする
- (3) 子どもたちに各種活動への参加を勧める

青少年育成那珂市民会議を構成する団体（構成団体）

地区まちづくり委員会、PTA連絡協議会、子ども会育成連合会、青少年相談員連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、保護司会、社会教育委員会、中央公民館運営審議会、小中学校長会、農業後継者クラブ、更生保護女性会、スポーツ協会、高齢者クラブ連合会、ライオンズクラブ、交通安全母の会、商工会、ガールスカウト、文化財愛護協会、スポーツ少年団本部、スポーツ少年団指導者協議会、那珂を良くする会、母子寡婦福祉会

青少年育成那珂市民会議の組織

企画委員会

- ・ 会 長
- ・ 副会長 民生委員・児童委員協議会会長、青少年相談員連絡協議会会長
PTA連絡協議会会長、子ども会育成連合会会長
- ・ 各地区まちづくり委員会代表（17人）

専門部会

構成員を3つの部会に配置して、青少年育成那珂市民会議の事業を推進しています。

家庭部会

親子の心のふれあいの場を増やしていくことや地域とのつながりを積極的に築くことに取り組んでいます。

【令和7年度の主な事業】

- 「大人が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会
令和7年10月25日（土） 9：30～ 総合センターらぼーる
- 「家庭の日」図画・作文発表会及び表彰式典
令和7年11月29日（土） 10：00～ 総合センターらぼーる

育成部会

地域における青少年の健全育成の推進に取り組んでいます。

【令和7年度の主な事業】

- 「青少年の主張」発表大会及び表彰式典
令和7年10月 4日（土） 9：30～ 総合センターらぼーる
- 善行青少年表彰

広報部会

広報「きぼう」を年2回発行し、青少年育成の活動等を紹介しています。

【令和7年度の主な事業】

- 「きぼう」第41号 令和7年10月31日発行
- 「きぼう」第42号 令和8年 3月31日発行

構成団体紹介

青少年相談員の主な活動

那珂市青少年相談員連絡協議会

会長 小貫 秀夫

- ・ 朝のあいさつ運動
7時30分～8時
- ・ 子どもたちの登校時に大きな声で「おはようございます」
- ・ 「青少年の健全育成に協力する店」に対して協力依頼運動
- ・ 夕方の下校時に子どもたちへの安心・安全見守り活動
- ・ 各小中学校の生徒指導の先生方、那珂警察署との学校警察連絡協議会
- ・ 県青少年相談員連絡協議会第三ブロックの調整会議
- ・ 各学校区の相談員の幹事による幹事会が年間数回
- ・ 年間を通して「善行青少年表彰者」の発掘
- ・ 水郡線各駅で下校時の高校生たちに対して見守り活動
- ・ 青少年相談員移動研修会（令和7年度は牛久市の「茨城農芸学院」へ）
- ・ 常に、子どもたちの安心・安全のためです。
- ・ 子どもたちファーストです。

那珂市子ども会

「第21回 親子の集い」

令和7年6月21日(土) 水戸市少年自然の家

「家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及と子ども会活動の充実を図るため、市内小学校の親子を対象に実施しました。今年度は、19組49人(子ども会未加入者2組4人を含む)の親子が参加し、7つの小学区の親子をランダムに組んだ班で、館内ビンゴやタイルプレート作りを楽しみました。

初めて会った参加者の方々も、一緒に活動することで徐々に打ち解け、「また来年も会おうね!」と約束する姿も見られました。

《参加した児童の感想》

- ・タイルプレート作りが、すごく楽しかったので、また来年もやってみたいです。
- ・今日の親子の集いに参加してみて、いろいろな友達や、いろいろな体験ができてとてもよかったです。
- ・館内ビンゴがやってみて楽しかった。次もこのような遊びをやりたい。
- ・タイルプレートづくりとおひるごはんがおいしかったです。らいねんもさんかしたいです!



《参加した育成者の感想》

- ・レクリエーションや体験、どちらももできた事が楽しかったです。体験プログラムがあると満足できますね!
- ・他の小学校の方と一緒に活動することがなかったのが新鮮でした。普段動かないからか、館内ビンゴで体力を使ったので、お昼、タイルプレート作りでゆっくりできてよかったです。

日頃体験できない団体での活動にとっても楽しい思い出ができました。何かを作る体験は思い出をもってかえられるので嬉しいです。

「親睦競技大会」

令和7年7月19日(土) なかLuckyFM公園

ソフトディスクを使用したドッジボール形式で行う「ドッジビー」。当日は選手の鋭いパスや見事なキャッチに観客からは大歓声が起こり、会場は大いに盛り上がりました。

優勝おめでとう スワンドリーム

白鳥学園 那珂市立瓜連小学校

六年 平松 圭祐

「やったー!優勝だ!」決勝戦が終わったしゅん間、ぼくはうれしくて何度もジャンプしました。

ぼくたちスワンドリームというチームは、今年初めて瓜連小学校の子ども会に入っている全員の希望者を集めて作った選抜チームです。みんなでおそろいの赤いくつ下をはいて気持ちをひとつにして試合に挑みました。

予選リーグの最初の試合は、緊張して動きがたくくて、ぼくもミスを連発してしまいました。でも、そんな時にチームのみんながフォローしてくれたり、かんとくやコーチ、お父さん、お母さん、そして校長先生が大きな声で応援してくれたおかげで



頑張ることができました。応援ありがとうございました。ぼくは、みんなでやる毎週のドッジビーの練習が大好きでした。その練習の成果を発ぎして、目標としていた優勝を勝ち取ることができて、本当にうれしかったです。最高の思い出になりました。



「青少年の主張」発表大会

令和7年10月4日（土）

総合センターらぽーる

この大会は、青少年が日常生活の中で感じたことや考えていることを広く社会に訴えることにより、将来に向かって自信と誇りを持つとともに、青少年の健全育成に対する一般の理解と関心を高めることをねらいとして、毎年、開催されています。

本年度も、市内の各中学校、水戸農業高等学校、那珂高等学校、那珂市消防本部から代表14人が、熱心に自分の主張や思いを訴えました。

各中学校代表者

「美味しい」を増やすには？

ばら野学園 第一中 八年 海老 玲奈

ヤングケアラーと子供の人權

ばら野学園 第一中 九年 遠藤 汐夏

外見の差別をなくすために

青遙学園 第二中 八年 宮本 桃香

闇バイトは犯罪

青遙学園 第二中 九年 和田 幸奈

「二つ」じゃない

緑桜学園 第三中 八年 高畠 心玖

小さな命を守るために

緑桜学園 第三中 九年 長山 侑燈

完璧じゃなくてもいいという社会に

わかすぎ学園 第四中 七年 清水菜々海

相手に伝えるということ

わかすぎ学園 第四中 八年 関根 千恵

「言葉」への思い

白鳥学園 瓜連中 九年 小野里瑠桜

「伝えたい」その気持ちが架け橋に

白鳥学園 瓜連中 九年 小橋 優

高等学校・特別参加(消防職員)

畜産の学びを通して

水戸農業高等学校 一年 山川 權李

16歳の私が考える自信を持つことの大切さ

那珂高等学校 二年 橋本 陽人

防災教室

那珂市消防本部 松岡 智徳

女性消防士としてできること

那珂市消防本部 沢幡 茉歩

講評

青少年育成那珂市民会議

育成部会長 鯉淵 節夫

普段の生活とは大きく異なる環境・雰囲気の中、大いに緊張したことと思います。しかし、すべての方が自分の思いを伝えようとする熱意が伝わってきました。

今回の中学生の発表内容は、身近なことから社会問題まで中学生の純粋な視点で幅広く考え抜き、実感をもって発表していました。実に立派な発表でした。

高校生お二人の発表内容は、青少年が大人になるために何が必要か、深く掘り下げた内容であり、高校生らしい、若々しい発想と説得力のある主張に触れたのは、私にとりまして大変貴重な経験でした。

消防職員のお二人の発表からは、改めて私たち地域住民の安心・安全を支えてくださっていることを深く感じる事ができました。本当に頭の下がる思いです。

私たちを取り巻く環境がより多様化し複雑になる中、皆さんの発表を聞くことで、自分の言動や生活をもう一度考えさせられる大会になったと感じています。素晴らしい発表をありがとうございました。



「初めての梅の実落とし」

八年 會澤 瑠依

私が通う第三中学校は、緑に囲まれ、自然あふれる学校で、小中一貫教育の交流もたくさんあります。その中でも八年生は毎年6月に、梅の実落としがあります。今年は4日に、八年生全員で梅の実落としが行われました。

梅の実を取るのには、手で取る生徒や、高い所の実を取るために、長い棒を使用して、梅の実にキズをつけないように落とす生徒もいます。

みんなで協力したり、取った梅の実の量で競い合ったりしながら、梅の実を収穫しました。

昨年は、梅の実が不作で、あまり収穫ができなかったそうです。しかし今年は、たくさん梅の実が実っていました。その結果、131kgの梅の実を収穫することができました。梅の実落としの体験ができて、とても良かったです。

「小中一貫教育を通して」

七年 木村 結愛

私が通う第三中学校は、自然豊かでもとても過ごしやすい中学校です。また、小中一貫教育として同じ学園内の小学校五・六年生と合同で、毎年「お茶摘み集会」を行うことも、大きな特色の一つです。

「お茶摘み集会」は、三中で行われます。集まった小学生に、私たち中学生は摘み方を教えながら、縦割り班毎に収穫量を競い合います。競う、といってもみんな笑顔で話し合いながら、普段体験することの少ないお茶摘みを、楽しむことのできる行事です。

行事といえば、今までは楽しむことしか考えていませんでしたが、今回小学生に分かりやすく教えるにはどうすればよいか考えながら参加したこと、そしてそれにより「ありがとう」と感謝を伝えられて嬉しかったことから、行事の意味や価値に迫ることができたような気がします。

まだまだ中学校での生活は始まったばかりです。これから、三中らしさが詰まった一つ一つの行事を大切にしていきたいです。



まちづくり委員会

子供たちの成長は地域の活力

戸多地区まちづくり委員会

委員長 根本 泰之



戸多地区に学校がなくなり、小学生・中学生との直接交流は少なくなりました。目にするのは小学校の運動会・中学校の体育祭、春と秋の戸多地区ニユースポーツ大会、親子ふれあい教室、ハイキング、戸多まつり等です。

通学時間帯に見守り活動を行っている青少年相談員のみなさまは、子どもたちへ関わられることをうらやましく思います。昨年から、凧作り・凧揚げ大会を開催することになりました。12月14日に、中学生の協力を得ながら小学生の手による凧作りを行いました。季節は冬、旧小学校のグラウンドに舞い上がりました。また、1月4日には那珂西リバーサイドパークにおいて凧揚げ大会を実施しました。30m以上の長さで凧揚げをする子もいました。3世代が大空に舞う凧に歓声を上げました。今年も計画しており、今から楽しみです。

3世代交流が行われるニユースポーツ大会では、子どもの活躍に目を見張るものがあります。子どもも大人も歓声を上げながらのスポーツは、人の心を近づけてくれます。このような機会が更に増えればと考えます。戸多まつりは地区民総出の交流事業になりますが、中でも子どもたちが躍動する子供踊りには、多くの大人が目を見張り、細めました。最後に、今年は親子ふれあい教室は実施できませんでした。来年に期待です。



編集後記

今年は暑い夏となりました。子どもたちは夏休みをどのように過ごしたでしょうか。

夏休みである八月上旬に社会福祉協議会と、なか自然の会のコラボで、児童・生徒向けの森林体験会を開催しましたが、例年の半数以下の参加者でした。暑さで敬遠したのでしょうか。それでも、参加者は汗びっしょりになって体験を楽しんでいました。

秋になって暑さも和らいでくるので、いろいろな催しに参加していただきたいと思っています。

広報部会長 大内 薫